

《 目 次 》

1. 01 解技-08 山形県内における降雪域形成の数値シミュレーション 高野哲夫（新潟県）
2. 01 統解-25 2015年の日本の気温偏差を推定する 内山常雄（神奈川県）
3. 01 事例-18 鈴鹿山脈御在所岳における気温減率について 関谷不二夫（三重県）
4. 01 実験-07 生徒の能動的参加を重視した気象実験事例（その2）「赤外線放射と吸収実験」
関隆則（千葉県）
5. 02 WB-09 太陽光発電による雲形態と日射量の関係調査 有賀勇（千葉県）
6. 03 統解-01 青森県の積雪期における雪関連災害の被災者数とその推測に関する一考察
小関英明（青森県）
7. 04 授業-10 地元郷土史研究者に対する発表報告
－地方での防災活動への試みのひとつとして－ 土井修二（京都府）
8. 04 教育-03 生徒の主体的活動を生かした気象教育 荒川知子（神奈川県）
9. 08 事例-01 気象予報士としてのロジカルシンキング 井澤慎郷（兵庫県）
10. 01 解技-09 夏の1か月予報～週間予報支援図から、集中豪雨の可能性を見る 藤井聡（静岡県）

付 録 研究成果発表一覧

研究区分凡例

【大区分】

- 01: 気象一般
- 02: 気象情報作成・活用
- 03: 防災気象
- 04: 気象知識普及
- 05: 古気候・古気象
- 06: 気象情報ニーズ
- 07: 文化と気象
- 08: その他

【中区分】

- 解技: 解析技法
- 統解: 統計解析
- 事例: 事例解析
- 予測: 気象予測
- WB: 気象ビジネス
- 実験: 気象実験
- 授業: 出前授業
- 教育: 気象教育
- 運用: 活動要領